

2024年にデビューするクイーン・アンはキュナードの旗を掲げる249隻目の船となり、現在運航する3隻（クイーン・メリー2、クイーン・ヴィクトリア、クイーン・エリザベス）に加わり、キュナードは1999年以降、初めて4つの客船を同時に運航いたします。

● 船名について

キュナードがこれまで受け継いできた豊かな伝統や、王室とのつながり、長い年月を経て磨き上げられた今日の姿を祝して、クイーン・アン（英語名 Queen Anne）という名称に決まりました。このことにより、過去1000年の間、それぞれの時代に君臨した女王の名称が付いた4隻が揃いました。

● 客船スペック

- 全長 322.5m
- 総トン数 113,000 トン
- 全高 64m（海上からの高さ）
- 全幅 35.6m
- 乗客定員 3,000 人
- 乗組員数 1,225 人
- 喫水 8.12m
- 最大速度 22 ノット（時速 40.7km）



● 初代船長について

クイーン・アンの処女航海を含む最初のシーズンの船長として、キュナード史上初の女性船長、インガー・クレイン・トーハウガが着任します。

トーハウガは、1997年にキュナードのヴィスタフィヨルドで二等航海士としてそのキャリアをスタートさせ2010年にクイーン・ヴィクトリアの船長に就任。フェロー諸島（デンマーク）出身で、クイーン・ヴィクトリア、そして近年ではクイーン・エリザベスの船長を歴任。クイーン・アンがデビューする2024年は、トーハウガにとって、キュナード入社25年の節目を迎える記念の年となります。





● 造船所について

フィンカンティエリ・マルゲーラ造船所で建造。

フィンカンティエリ・グループはこれまで、クイーン・ヴィクトリア（2007年就航）とクイーン・エリザベス（2010年就航）の建造も手掛けています。

● デザインについて

クイーン・アンのデザインは、キュナードの過去の歴史からインスパイアされた要素を取り入れながらも、新たな章を刻むために、各分野から才能を結集し、新しいビジョンを持って創り出されました。

クイーン・アンはキュナードの象徴的な船内空間を一新いたします。ダイニング、カルチャー、エンターテイメントなどに新しい体験を導入し、当社が誇るホワイトスター・サービスと共に比類ないクルーズ体験を提供いたします。ラグジュアリーの“伝統”と“現代”の架け橋となるクイーン・アンは、過去と現在の影響力のあるデザイン様式を取り入れた、キュナードの新たな装いをご提案いたします。世界的に著名なデザイナーとの協業により、新しい船旅のスタイルを提案する、特別感があり、細部まで心をこめたデザインを実現いたしました。内装は、時代を超えて受け継がれたキュナードの洗練された雰囲気をもとつつ、大胆な色調で、印象的な美しさを表現いたしました。

クイーン・アンのデザインチームは、リバプール大学（英国）が所蔵するキュナードのアーカイブから、設計図、素材、ファブリック、パターン、テクスチャーに関する豊富な歴史的資料や詳細を入手しました。過去のポスターや広告、カタログの表紙、キュナードの初期の装飾が施された船の図面など、あらゆるものを参考にし、洋上で体験できる最高のホスピタリティーにふさわしいコンセプトを実現しました。

クイーン・アン クリエイティブ・ディレクター：

・ アダム・D・ティハニー（Adam D. Tihany）

デザインチーム：

・ デビッド・コリンズ・スタジオ（David Collins Studio）

・ リッチモンド・インターナショナル（Richmond International）

・ シビル・ド・マージュリー（Sybille de Margerie）





● 船内施設（運航中の3隻にも存在する施設）

グランド・ロビー

船の中心には3層吹き抜けの壮大なグランド・ロビーがあり、船のエントランスとしてふさわしいエネルギーと光に満ちた印象的な雰囲気になっています。過去から現在への移り変わりを表現するこのエリアには、海の旅を賛辞するモダンな彫刻の壁画が設置され、ライティングの変化によって様変わりする姿を一日中堪能することができます。



クイーンズ・ルーム

キューナードの船を代表するクイーンズ・ルームは印象的で新しいデザインが施されました。ここではアフタヌーンティーやガラ・イブニング、クラシックコンサート、社交ダンスなど、さまざまなアクティビティが開催されます。



他には、835席を有するロイヤル・コート・シアターやコモドアー・クラブ、チャーチルズ、チャート・ルーム、カリンシア・ラウンジなどのキューナードの人気施設のほか、カジノやライブラリー、アート・ギャラリー、フォトスタジオ、ブティック、キッズルームもあります。

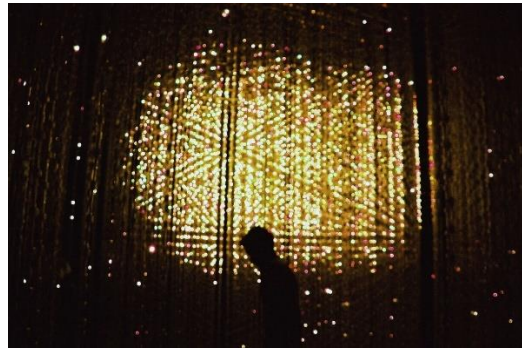


●船内施設（クイーン・アンで初登場する施設）

ブライツ・ライツ・ソサエティ

客船に初めて電灯照明を導入したキュナードの歴史に敬意を表し「ブライツ・ライツ・ソサエティ」という名のエンターテインメントを提供するバー・ラウンジが新たに登場します。店内はメタリックのゴールド、輝く電球、エレクトリックブルーが象徴的な空間で、キュナード初の試みとしてホスト（司会者）がいます。思いがけないパフォーマーやミュージシャンがステージに立ち、会場を盛り上げ、忘れられない一夜をご提供いたします。（要別途代金）

B R I G H T
L I G H T S
S O C
I E T
Y



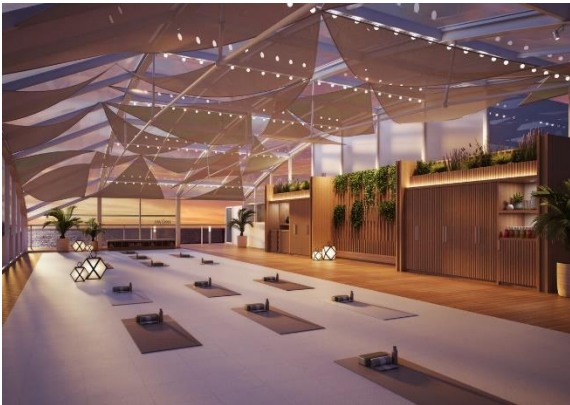
● ウェルネス施設

マレール・ウェルネス&ビューティー

キューナード初の屋外ウェルネス・スタジオを含む 1,300 m²のスペースで、以下のプログラムと設備をご用意しております。

- ヨガやその他アクティビティを体験できるフィットネスクラス
- カーディオマシン、フリーウェイト、スプリングフロア、スピングラススタジオ、パーソナルトレーナーが常駐するフィットネスセンター
- 理容、美容、その他のトリートメントを提供するサロン
- トリートメントルーム 9 室
- ウェルネス・スイート（室内設備：マッサージベッド 2 台、オーシャンビューのリラクゼーション・ベッドと赤外線サウナ、スチームルーム、シャワー）
- スチームルームとドライサウナ
- サーマル・プール
- サーマル・ラウンジャー 8 台
- ヒマラヤ岩塩サウナとコールドルーム
- エクスペリエンス・シャワー 4 室
- リフレクソロジーフットバス 4 つ

ウェルネス・スタジオ



ウェルネス・スイート



サーマル・プール



サロン





● 屋外エリア

ザ・パビリオン（デッキ9～11 吹き抜け）

ガラスドームの屋根が特徴で、天気の良い日には格納してオープンエアになります。ここではスイミングプールを楽しむだけでなく、屋外シアターで映画の上映、さらには中央にステージと大型 LED スクリーンを使ってライブ演奏も行われます。

THE PAVILION



ザ・パビリオンのデッキ9には「ジェラテリア」が、デッキ10には「ウェルネス・カフェ」が新登場。「ウェルネス・カフェ」では、新鮮なフルーツをふんだんに使い、注文を受けてから作るスムージーをご提供いたします。ヴィーガンやベジタリアンの方にもおすすめのカフェです。

パノラマ・プール・クラブ

船尾という絶好のポジションで海の景色を堪能することができます。モノクロストライプのスイミングプールが印象的で、DJやバンドの生演奏を聴きながら楽しめます。日差しを避けるキャノピー（日避け）もあります。

PANORAMA Pool Club





各屋外エリアのご紹介

クイーン・アンには6デッキ（デッキ3、9、10、11、12、14）に屋外エリアがあります。

● デッキ14（最上階）

- ・スカイバー
- ・展望デッキ

パドルテニス・コート、パッティング・グリーン、ゴルフ練習場、輪投げ、シャッフルボードまで、さまざまなデッキゲームを楽しめる

● デッキ12

子供向けの施設「ザ・ゾーン」の屋外エリア

● デッキ11

- ・グリルズ・テラス ※グリルクラスのお客様専用エリア
- ・ウェルネス・スタジオ
- ・デッキゲーム
- ・カバナ

太陽が降り注ぐトロピカルなビーチバーをイメージしたバーで、ラムベースのカクテルを楽しめる。望遠鏡が2台あり、行き交う船や野生動物を見たりすることができる

CABANA

● デッキ10

- ・ウェルネス・カフェ
- ・デッキゲーム

● デッキ9

- ・ザ・パビリオン

ジェラテリアや、飲み物やグリル料理を楽しめるバーを併設

- ・パノラマ・プール・クラブ

アル・フレスコダイニング（屋外ダイニング）とバーを併設

● デッキ3

- ・プロムナード・デッキ

1周をぐるりと歩くことができる、海を眺めながら歩いたり走ったりすることができる。ウォーキングやジョギングに最適



クイーン・アンには 15 つのダイニングやスペシャリティ・レストラン、バー、ラウンジなどをご用意しております。気兼ねなく楽しめる軽食から本格的なコースまで、船内のあらゆる場所でさまざまな食事のセレクションから、お好きなときにお好きなものをお楽しみいただけます

● **メイン・ダイニング**

現在運航中の 3 隻と同様に、客室カテゴリーごとに専用のメイン・ダイニングをご用意しております。（朝食、昼食、夕食）

クイーンズ・グリル



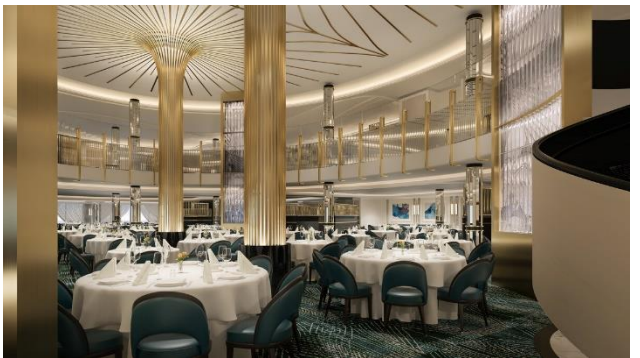
プリンセス・グリル



ブリタニア・クラブ



ブリタニア・レストラン





● スペシャルティ・レストラン

メイン・ダイニング以外にもバラエティ豊かな料理をご堪能いただけるレストランの数々をご用意しました。この新造船では、地中海料理からアジア料理、ステーキハウスやグリルまでを取り揃え、お客様にエキサイティングな食体験をご提供いたします。どのレストランでも、キュナードが誇るホワイトスター・サービス、温かく居心地の良い雰囲気、そして世界中から集められた選りすぐりの食材を使った料理をお楽しみいただけます。

トラモント

トラモントでは、新鮮な地中海のフードシーンからのインスピレーションに加え、アフリカやアラビアの味覚を散りばめたヨーロッパの太陽に敬意を表したシンプルでありながら本格的な地中海料理をお楽しみいただけます。世界のどこにいても、きらめく海の景色を楽しみながら、地中海の太陽が降り注ぐような食体験をお届けします。(ディナーのみ営業)

TRAMONTO



味和

「味のハーモニー」を意味する味和(Aji Wa)はキュナード初の創作和食レストラン。繊細かつ深い味わいの和食と熟練のシェフの技を融合させた、本格的な食体験をお届けします。

メニューは、クイーン・アンがクルーズする季節や地域を反映した旬の食材を取り入れるため一年を通して変化します。また、お食事の時間や店内でお客様が座る席によって提供されるメニューが異なることも特徴です。寿司カウンターでは巻き寿司やお刺身を、焼き鳥グリルではじっくり炙った和牛とともに日本酒やシグネチャーカクテル“味和”をご堪能ください。他にも、蒸饅頭や焼餃子、天婦羅などをご用意しております。さらに、日本風アレンジされたアフタヌーンティーや、夜はシェフが腕をふるうテイスティング・メニューもお楽しみいただけます。



AJI WA 味和



アランヤ

サンスクリット語で「森」や「荒野」を意味するインド料理レストランのアランヤは、お客様をインド亜大陸の食の旅へとお連れします。

伝統的なインド料理を遊び心たっぷりにアレンジし、フルーティーなチャツネが添えられた温かいパパダムや香ばしいカルダモンが香るライス、繊細なスパイスで味つけされたソースなど、どのメニューもインド料理の真髄がアランヤ独自のアレンジで創造的に生まれ変わります。

Aanya

Spices of India





サー・サミュエルズ

キュナードの創業者に敬意を表するサー・サミュエルズは“陸と海の融合”をコンセプトに、食材に至るまで目新しさにあふれたステーキハウスです。

使用される食材は、持続可能性と産地にこだわって選び抜かれた最高のものばかりで、世界各地から取り寄せた最高品質のビーフは完璧に温度管理された庫内で熟成されています。お客様自身で選んだナイフで食べるジューシーなステーキ、海の風味が溶け込んだシーフードプラッター、食欲をそそるシタビラメ料理などのシグネチャーメニューをご用意しております。

SIR・SAMUELS

STEAKHOUSE & GRILL



ゴールデン・ライオン

ゴールデン・ライオンは、ビール、ワイン、スピリッツなど充実したドリンクメニューとクラシックなパブ料理を提供するパブです。

ミシュラン2つ星シェフ、ミシェル・ルーならではのフレッシュな感覚でアレンジされたパブの定番料理をご堪能ください。キュナードオリジナルの3種を含む世界各国のビールやワインも常時取り揃えています。スタイリッシュでありながらカジュアルにくつろげるこのパブは予約も不要で、ガラ・イブニングの時間でもリラックスした服装でお越しいただけます。ライブ・エンターテイメントもお見逃しなく。



● スターシェフ、ミシェル・ルーとの独占提携

英国のスターシェフであるルーが、クイーンズ・グリルの新しいガラ・イブニング・メニューを手掛けます。また、パブの定番料理を洗練させた新メニューで、ゴールデン・ライオンの料理に新たな息吹を吹き込みます。



● 客室

運航中の3隻同様、4つのカテゴリー（ブリタニア、ブリタニア・クラブ、プリンセス・グリル、クイーンズ・グリル）に分かれております。ベッドはキングまたはシングル2台に変更可能で、バスアメニティは「ペンハリガン」。新しくUSB電源ソケットが備わりました。

● ブリタニア / メイン・ダイニングは「ブリタニア・レストラン」

スタンダード（内側） 約 14 m² (Appx 148 sq. ft.)



海側 約 19 m²~22 m² (Appx 200-242 sq. ft.)



海側バルコニー 約 22 m² (Appx 236 sq. ft.)



● ブリタニア・クラブ / メイン・ダイニングは「ブリタニア・クラブ」

クラブ バルコニー 約 22 m² (Appx 236 sq. ft.)





● プリンセス・グリル / メイン・ダイニングは「プリンセス・グリル」

プリンセス スイート 約 28 ㎡ (Appx 302 sq. ft.)



● クイーンズ・グリル / メイン・ダイニングは「クイーンズ・グリル」

クイーンズ スイート 約 45 ㎡~46 ㎡ (Appx 484-500 sq. ft.)





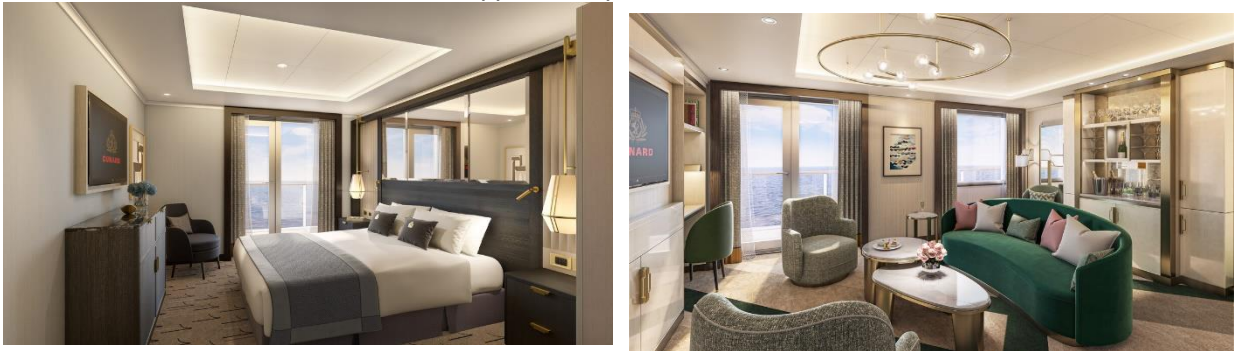
ペントハウス

約 49 m²~60 m² (Appx 532-646 sq. ft.)



マスター スイート

約 83 m² (Appx 896 sq. ft.)





グランドスイート 約 134 m² (Appx 1440 sq. ft.)



● 「プリンセス・グリル」と「クイーンズ・グリル」のお客様専用エリア

グリルズ・テラス

客室ルームキーでアクセスできるエリアには、水平線まで見渡せる2つのインフィニティ・ホットタブのほか、本を読みながらの日光浴や、冷たい飲み物や軽食をお楽しみいただける、ゆったりしたベッドやチェアを多くご用意しております。デッキ11の中心に位置する広々としたスペースでリラックスしたひと時をお過ごしいただけます。





● クイーン・アンのこれまでの軌跡：

- 2017年9月：
4隻目となる新船を建造する計画を発表
- 2018年10月：
新造船のクリエイティブ・ディレクターとしてアダム・D・ティハニー氏の起用を発表
- 2019年4月：
新造船デザインチームを発表（デビッド・コリンズ・スタジオ、リッチモンド・インターナショナル、シビル・ド・マージュリーが加わる）



- 2019年10月：
フィンカンティエリ造船所でスチールカット・セレモニー（建造の開始を記念し鉄鋼を切り出すセレモニー）を実施。最初に切り出された鉄鋼を使った彫刻作品を著名な彫刻家サム・シェンディ（Sam Shendi）氏に制作を依頼。作品は船内に飾られる予定



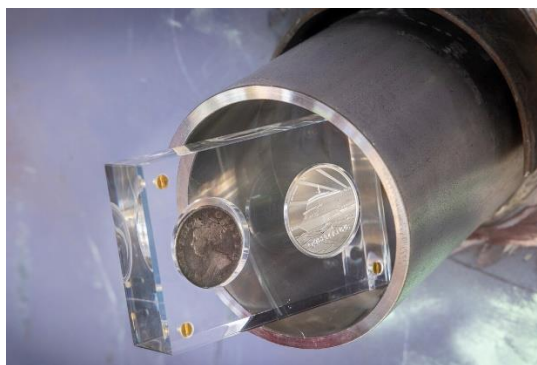
- 2022年2月：
新造船の名称をクイーン・アンに決定

QUEEN ANNE

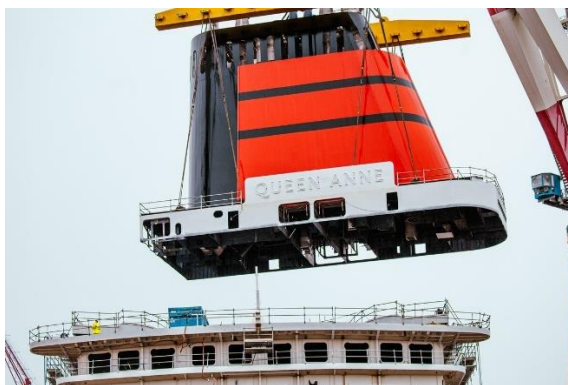
- 2022年3月：
処女航海を含む最初のシーズンの船長として、キュナード史上初の女性船長、インガー・クレイン・トーハウガが着任することが決定
- 2022年4月：
トロンコーン・セレモニー（船が初めて陸上から水上に移されることを祝う伝統的なセレモニー）を実施。幸運を祈願しスパークリングワインのボトルを船体に叩きつける儀式を行った



- 2022年9月：
起工式(キールを敷設するセレモニー)を実施
起工式の伝統として、船名の由来となった“アン女王治世時代の硬貨”と“キュナード特製のクイーン・アン硬貨”の2枚をトーハウガ船長が代表して同船のキール*に埋め込み、船の一部にした *キールとは竜骨／人間の背骨に当たる部分で船の前後方向の強度を司る部位



- 2023年4月：
150年以上の歴史を持つキュナードの象徴である赤と黒のファンネル（船の煙突）を装着



- 2023年5月：
2024年5月3日の処女航海まであと1年を控え、フロート・アウトセレモニー（船の外装が仕上がり、新造船が初めて水に入る際に行われるセレモニー）を実施



- 2024年5月：
サウサンプトン（英国）発着（寄港地：スペインのラ・コルーニャ、ポルトガルのリスボン）、5月3日～10日（7泊8日）の処女航海へ



クルーズネットワーク

CRUISE NETWORK

アイネット ジャパン コーポレーション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-21-4 N2ビル2階

営業時間/月曜～金曜09:30～18:00 (休日:土・日・祭日) 総合旅行業取扱管理者: 稲葉英雄

☎ 03-5623-0780 FAX 03-5623-0730

ホームページアドレス <http://www.i-net-japan.co.jp/>

Eメール cruise-network@i-net-japan.co.jp